

# 療育研修会実施状況

北海道支部

参加数 10名

テーマ：◆重症心身障害児(者)の呼吸器ケア

講師： 看護師 西部 良恵

障害者  
ケアマネージャー 川口 雅紀

実施場所：地域活動センター あてんど



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

痰吸引についてはいつも業務で細心の注意をしているが、ちょっとした間違いが

利用者の死に繋がってしまう。しかし吸引をしなければ利用者は苦しく、死に至っ

てしまう。慣れているからといって流れで行ってしまうと順番が逆になったり、

手順を間違ってしまうことになる。いつも行っていることでも慎重、かつ丁寧に

医療的ケアを行っていかなければならない。

※ 写真は、日本財団に提出する事業完了報告書に添付いたしますので、  
日本財団関係の書類に載る場合もあります。

※ 撮影の際は、参加者の方にご了承をいただくなどその点には注意してください。

## 療育研修会の内容を記入

重症心身障害児（者）の呼吸器ケアにおいていくつか注意しておかなければならないが、

まず第1に室内を清潔にしていくこと。特に気管切開をしている人については、気管切開

しているところから病原菌やウイルスが侵入しやすく、また抵抗力も弱い。病原菌等に

よっては死に至るケースもあるため室内の清潔には医療、福祉従事者は注意しておかなけ

ればならない。吸引器を使った痰吸引を行う際も石鹸、流水による手洗いを十分に行って

から吸引を行うこと。気管切開したところから感染しないよう注意する。

吸引する際は、スイッチを入れる→カテーテルの消毒→水→吸引→消毒→水の順番で

行っていく。万が一手順を間違っしまい水に先に入れてしまった場合には、水を取り

換えて十分にカテーテルを消毒して行う。

---

---

---

---